学校番号	２０２

令和８年度　音楽科

教科	音楽科	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ジュニアクラスの楽典問題集（ドレミ楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「ピアノを演奏すること」「基礎的な音楽知識を身に付けること」について年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・進路に必要な知識や技能を身に付け、生涯続けられる仕事の支えとなる資格取得を助けます。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】

音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。（知識） ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎的な歌唱技術を身に付けよう①	【歌唱】 コールユーブンゲン 「赤とんぼ」 等	a: 【技】創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 c:歌唱表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	演奏の聴取 観察
	ピアノ演奏の基礎①	【器楽】 バイエル100番	a:【知】音楽の構造について理解を深めている。 【技】ピアノの奏法、身体の使い方、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、ピアノで表している。 b:音楽を形作っている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察

	ピアノ演奏の基礎②コードについて	【ピアノ弾き歌い】 「にじ」 「思い出のアルバム」 等	a:【知】音楽の構造について理解を深めている。 【技】ピアノの奏法、身体の使い方、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌唱表現・器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察
2学期	基礎的な歌唱技術を身に付けよう②	【歌唱】 コンコーネ50番 唱歌 「ふるさと」 「夏の思い出」 など	a: 【技】創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 c:歌唱表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	演奏の聴取 観察

	ピアノ演奏の発表会をしよう	【器楽】 バイエル100番 ブルグミュラー、ソナチネ	a:【知】音楽の構造について理解を深めている。 【技】ピアノの奏法、身体の使い方、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、ピアノで表している。 b:音楽を形作っている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 振り返りレポート 観察	演奏の聴取 観察
3学期	ピアノ連弾に挑戦してみよう	【器楽アンサンブル】 「ハイホー」 「ミッキーマウスマーチ」 等	a: 【技】ピアノの奏法、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:旋律・音色・リズム・テクスチュアを知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように器楽表現するかについて表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 観察	演奏の聴取 観察

	卒業の歌を歌おう	【歌唱】 校歌 「旅立ちの日に」 卒業生の歌	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解を深めている。 【技】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 c:ハーモニーを奏でることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	演奏の聴取 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度